

## IV 学科目単位配当表

1	生活科学科 生活科学専攻 キャリアデザインコース	56
2	生活科学科 生活科学専攻 養護教諭コース	62
3	生活科学科 食物栄養専攻 栄養士コース	66
4	こども教育学科 こども教育専攻 こども教育コース	70
5	ライフケア学科 臨床検査専攻 臨床検査コース	72
6	ライフケア学科 柔道整復専攻 柔道整復コース（昼間部）	74
7	ライフケア学科 柔道整復専攻（二部） 柔道整復コース（夜間部）	76
8	専攻科 こども教育学専攻	78
9	専攻科 臨床工学専攻	79
10	専攻科 養護教諭専攻	80

## — 学科目単位担当表の記載事項について —

1. 卒業必修科目とは、卒業資格を得るために必ず修得しなければならない科目です。
2. 選択必修科目とは、卒業もしくは資格を得るために所定の科目から選択し、必ず修得しなければならない科目です。
3. 選択科目とは、卒業もしくは資格に必要な所定の単位数を満たす上で、選択できる科目です。
4. 資格必修科目とは、資格を得るために必ず修得しなければならない科目です。

◎学科目単位担当表の年次・学期担当は、事情により変更することがあります。  
配付された時間割で、必ず確認してください。

# 1 生活科学科 生活科学専攻 キャリアデザインコース (2026 年度入学生用)

## <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科生活科学専攻キャリアデザインコースの卒業に必要な単位（卒業要件単位数）を修得すること

## <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 10単位 (選択) 2単位以上
専門教育科目	50単位以上	(必修) 16単位 (選択) 34単位以上
卒業要件単位数	62単位以上	

## 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考		
			必修	選択	1年次		2年次		ピアヘルパー	社会福祉主事			
基礎 教育 科目	総合系	12		2	△								
			2			◎							
			2			◎							
			2		◎								
			2			◎							
	情報系		情報基礎演習Ⅰ	1			◎						
			情報基礎演習Ⅱ	1					◎				
	外国語系		英語コミュニケーションⅠ		1	△							
			英語コミュニケーションⅡ		1			△					
			実践英語		2					△*			イギリス短期研修
体育系	体育理論		2					△					
	体育実技		1					△					

## <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合がありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」（2年前期または後期）は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考	
			必修	選択	1年次		2年次		ピアヘルパー	社会福祉主事		
					前期	後期	前期	後期				
専門教育科目	衣生活論	50		2		△						
	住生活論			2		△						
	食生活論			2	△							
	基礎栄養学			2	△						●	
	フードサイエンス			2				△				
	色彩検定			2	△							
	ユニバーサルカラー学			2					△			
	ファッションビジネス基礎			2			△					
	ファッションと文化			2				△				
	秘書概論			2			△					
	アロマセラピーⅠ			2	△							
	アロマセラピーⅡ			2			△					
	情報処理演習A			1				△				
	情報処理演習B			1					△			
	医療事務Ⅰ			2	△							
	医療事務Ⅱ			2	△							
	医療事務Ⅲ			2			△					
	生活概論			2				△			●	
	生活衛生学			2					◎		●	
	ライフデザイン			2			◎					
	プレゼンテーションの基礎			2	△							
	インターンシップ事前指導			1			◎					
	インターンシップ			2					◎*			2週間
	キャリアデザイン演習ⅠA			1		◎						
	キャリアデザイン演習ⅠB			1			◎					
	キャリアデザイン演習ⅡA			1				◎				
	キャリアデザイン演習ⅡB			1					◎			
	地域づくり			1					◎*			
	ボランティア論			2		◎					●	
	生活経済学			2					◎			
	自分探しの心理学			2	△						●	
	人との関わりを学ぶ心理学			2			△				●	
保育特講Ⅰ		2			△				●			
保育特講Ⅱ		2				△			●			
ネイルアートⅠ		2			△							
ネイルアートⅡ		2				△						
ハートセイバーAED		2				△						

＜履修条件＞

1. 「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）は、同時に履修してください。
2. 「医療事務Ⅲ」（1年後期）は、「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）を履修していなければ、履修することはできません。

＜補足事項＞

1. 下記の科目を履修する場合、（ ）内の科目も履修することが望まれます。
  - ①ユニバーサルカラー学（色彩検定） ②アロマセラピーⅡ（アロマセラピーⅠ）
2. 下記の科目は、履修希望者が多数の場合は、抽選になります。
  - ①ネイルアートⅠ（1年後期） ②ネイルアートⅡ（2年前期）
3. ピアヘルパー認定試験受験希望者は、資格区分のピアヘルパー欄に●の表示がある3科目のうち、2科目かつ4単位以上の単位修得が必要となります。
4. 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある5科目のうち、3科目分以上の単位修得が必要となります。ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。
  - ①「保育特講Ⅰ」（1年後期）と「保育特講Ⅱ」（2年前期）
5. JNAジェルネイル技能検定試験受験希望者は、「ネイルアートⅠ」（1年後期）「ネイルアートⅡ」（2年前期）両方を履修することが望まれます。
6. 食生活アドバイザー検定試験受験希望者は、「食生活論」（1年前期）「基礎栄養学」（1年前期）両方を履修することが望まれます。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

# 1 生活科学科 生活科学専攻 キャリアデザインコース (2025 年度入学生用)

## <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科生活科学専攻キャリアデザインコースの卒業に必要な単位（卒業要件単位数）を修得すること

## <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 10単位 (選択) 2単位以上
専門教育科目	50単位以上	(必修) 14単位 (選択) 36単位以上
卒業要件単位数	62単位以上	

## 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考		
			必修	選択	1年次		2年次		ピアヘルパー	社会福祉主事			
基礎 教育 科目	総合系	12		2	△								
			2			◎							
			2			◎							
			2		◎								
			2			◎							
	情報系		情報基礎演習Ⅰ	1			◎						
			情報基礎演習Ⅱ	1					◎				
	外国語系		英語コミュニケーションⅠ		1	△							
			英語コミュニケーションⅡ		1			△					
			実践英語		2					△*			イギリス短期研修
体育系	体育理論		2					△					
	体育実技		1					△					

## <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合がありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」（2年前期または後期）は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考	
			必修	選択	1年次		2年次		ピアヘルパー	社会福祉主事		
					前期	後期	前期	後期				
専門教育科目	衣生活論	50		2		△						
	住生活論			2		△						
	食生活論			2	△							
	基礎栄養学			2	△						●	
	調理学			2				△				
	色彩検定			2	△							
	ユニバーサルカラー学			2					△			
	ファッションビジネス基礎			2		△						
	ファッションと文化			2				△				
	秘書概論			2		△						
	アロマセラピーⅠ			2	△							
	アロマセラピーⅡ			2		△						
	情報処理演習A			1				△				
	情報処理演習B			1					△			
	医療事務Ⅰ			2	△							
	医療事務Ⅱ			2	△							
	医療事務Ⅲ			2		△						
	生活概論			2				△			●	
	生活衛生学			2					◎		●	
	プレゼンテーションの基礎			2	△							
	プレゼンテーションの成功			2		△						
	インターンシップ事前指導			1			◎					
	インターンシップ			2					◎*			2週間
	生活文化演習ⅠA			1		◎						
	生活文化演習ⅠB			1			◎					
	生活文化演習ⅡA			1				◎				
	生活文化演習ⅡB			1					◎			
	地域づくり			1					◎*			
	ボランティア論			2		◎				●		
	生活経済学			2					◎			
自分探しの心理学		2	△					●				
人との関わりを学ぶ心理学		2			△			●				
保育特講Ⅰ		2		△					●			
保育特講Ⅱ		2			△				●			
ネイルアートⅠ		2		△								
ネイルアートⅡ		2			△							
ハートセイバーAED		2			△							

＜履修条件＞

- 「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）は、同時に履修してください。
- 「医療事務Ⅲ」（1年後期）は、「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）を履修していなければ、履修することはできません。

＜補足事項＞

- 下記の科目を履修する場合、（ ）内の科目も履修することが望まれます。
  - ユニバーサルカラー学（色彩検定）
  - アロマセラピーⅡ（アロマセラピーⅠ）
  - プレゼンテーションの成功（プレゼンテーションの基礎）
- 下記の科目は、履修希望者が多数の場合は、抽選になります。
  - ネイルアートⅠ（1年後期）
  - ネイルアートⅡ（2年前期）
- ピアヘルパー認定試験受験希望者は、資格区分のピアヘルパー欄に●の表示がある3科目のうち、2科目かつ4単位以上の単位修得が必要となります。
- 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある5科目のうち、3科目分以上の単位修得が必要となります。ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。
  - 「保育特講Ⅰ」（1年後期）と「保育特講Ⅱ」（2年前期）
- JNAジェルネイル技能検定試験受験希望者は、「ネイルアートⅠ」（1年後期）「ネイルアートⅡ」（2年前期）両方を履修することが望まれます。
- 食生活アドバイザー検定試験受験希望者は、「食生活論」（1年前期）「基礎栄養学」（1年前期）両方を履修することが望まれます。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

# 1 生活科学科 生活科学専攻 キャリアデザインコース (2024 年度入学生用)

## <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科生活科学専攻キャリアデザインコースの卒業に必要な単位(卒業要件単位数)を修得すること

## <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12 単位数以上	(必修) 10 単位 (選択) 2 単位数以上
専門教育科目	50 単位数以上	(必修) 20 単位 (選択) 30 単位数以上
卒業要件単位数	62 単位数以上	

## 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考	
			必修	選択	1 年次		2 年次		ピアヘルパー	社会福祉主事		
基礎 教育 科目	総合系	12		2	△							
				2	△							
				2				△				
			2				◎					
			2				◎					
			2				◎					
			2				◎					
	情報系		情報基礎演習Ⅰ	1			◎					
			情報基礎演習Ⅱ	1					◎			
	外国語系		英語Ⅰ	1	△							
			英語Ⅱ	1			△					
			英語コミュニケーションⅠ	1					△			
			英語コミュニケーションⅡ	1						△		
			実践英語	4						△*		イギリス短期研修
体育系	体育理論	2					△					
	体育実技	1	△									

## <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」(2年前期または後期)は、イギリス短期研修のことを示しています。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分		備考	
			必修	選択	1年次		2年次		ピアヘルパー	社会福祉主事		
					前期	後期	前期	後期				
専門 教育 科目	衣生活論	50		2			△					
	住生活論			2			△					
	食生活論			2				△				
	基礎栄養学			2			△				●	
	調理学			2				△				
	色彩検定			2		△						
	ユニバーサルカラー学			2					△			
	ファッションビジネス基礎			2			△					
	ファッションと文化			2				△				
	生活の中のデザイン			1				△				
	秘書概論			2				△				
	アロマセラピーⅠ			2		△						
	アロマセラピーⅡ			2			△					
	情報処理演習A			1				△				
	情報処理演習B			1					△			
	医療事務Ⅰ			2		△						
	医療事務Ⅱ			2		△						
	医療事務Ⅲ			2			△					
	観光ビジネス論Ⅰ			2			△					
	観光ビジネス論Ⅱ			2				△				
	観光研究ゼミ			2					△			
	生活概論			2				△			●	
	生活衛生学			2					◎		●	
	ライフデザイン			2		◎						
	プレゼンテーションの基礎			2		◎						
	プレゼンテーションの成功			2			◎					
	インターンシップ			2					◎*			2週間
	生活文化演習ⅠA			1		◎						
	生活文化演習ⅠB			1			◎					
	生活文化演習ⅡA			1				◎				
	生活文化演習ⅡB			1					◎			
	地域づくりⅠ			1			◎*					
	地域づくりⅡ			1					◎*			
	ボランティア論			2		◎					●	
地域貢献論		2				◎						
コミュニティデザイン			1		△							
地域文化論			2				△					
生活経済学			2				△					
自分探しの心理学			2	△					●			
人との関わりを学ぶ心理学			2		△				●			
カウンセリング			2			△			●			
精神保健			2			△			●			
ゼミナールⅠ			1			△						
ゼミナールⅡ			1				△					
保育特講Ⅰ			2	△					●			
保育特講Ⅱ			2			△			●			

<履修条件>

1. 「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）は、同時に履修してください。
2. 「医療事務Ⅲ」（1年後期）は、「医療事務Ⅰ」（1年前期）と「医療事務Ⅱ」（1年前期）を履修していなければ、履修することはできません。
3. 「アロマセラピーⅡ」（1年後期）は、「アロマセラピーⅠ」（1年前期）を履修していなければ、履修することはできません。
4. 「プレゼンテーションの成功」（1年後期）は、「プレゼンテーションの基礎」（1年前期）を修得していなければ、履修することはできません。
5. 「観光ビジネス論Ⅱ」（2年前期）は、「観光ビジネス論Ⅰ」（1年後期）を履修していなければ、履修することはできません。

<補足事項>

1. 下記の科目を履修する場合、（ ）内の科目も履修することが望まれます。  
①観光研究ゼミ（観光ビジネス論Ⅰ、観光ビジネス論Ⅱ） ②ユニバーサルカラー学（色彩検定）
2. 下記の科目は、履修希望者が多数の場合は、抽選になります。  
①アロマセラピーⅠ（1年前期） ②アロマセラピーⅡ（1年後期） ③コミュニティデザイン（1年後期）  
④生活の中のデザイン（2年前期）
3. 下記の科目は、履修希望者が多数の場合は、面談を行い決定します。  
①観光研究ゼミ（2年後期） ②ゼミナールⅠ（2年前期） ③ゼミナールⅡ（2年後期）
4. ピアヘルパー受験希望者は、資格区分のピアヘルパー欄に●の表示がある5科目のうち、2科目かつ4単位以上の単位修得が必要となります。
5. 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある5科目のうち、3科目分以上の単位修得が必要となります。ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。  
①「保育特講Ⅰ」（1年前期）と「保育特講Ⅱ」（2年前期）

## 2 生活科学科 生活科学専攻 養護教諭コース (2026年度入学生用)

### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科生活科学専攻養護教諭コースの卒業に必要な単位(卒業要件単位数)を修得すること

### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 4単位 (選択) 8単位以上
専門教育科目	50単位以上	(必修) 4単位 (選択) 46単位以上
卒業要件単位数	62単位以上	

### <養護教諭二種免許取得に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の養護教諭欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	50単位	資格区分の養護教諭欄に●の表示がある全ての科目
教職科目	4単位	
資格取得要件単位数	66単位	

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得 要件単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分				備考	
				必修	選択	1年次		2年次		養護 教諭	ピアハ ルバー	社会福 祉主事	准学校 心理士		
						前期	後期	前期	後期						
基礎 教育 科目	文章表現法	12	12		2	△									
	日本国憲法			2			△			●					
	コミュニケーション心理学			2			△								
	生活文化論			2			△								
	社会人入門セミナー			2					◎		●				
	情報基礎演習Ⅰ			1					◎		●				
	情報基礎演習Ⅱ			1						◎	●				
	英語コミュニケーションⅠ			1			△				●				
	英語コミュニケーションⅡ			1				△			●				
	実践英語			2							△*				
体育理論	2						△		●						
体育実技	1			△					●						

### <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習、●…資格必修科目、★…「教職実践演習」必修科目
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」(2年前期または後期)は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

### <履修条件>

1. 「教職実践演習(養護教諭)」(2年後期)の履修には、2年前期までの資格必修科目と★印の単位を修得していること。  
かつ、養護実習の単位を修得済みまたは履修中であること。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格 取得 要件 単位数	年次・学期配当						資格区分				備考			
				単位数		1年次		2年次		養護 教諭	ピアハ ルパー	社会福 祉主事	准学校 心理士				
				必修	選択	前期	後期	前期	後期								
専 門 教 育 科 目	衣生活論				2					△							
	住生活論				2					△							
	食生活論				2					△							
	基礎栄養学				2					△			●				
	フードサイエンス				2					△							
	色彩検定				2	△											
	ユニバーサルカラー学				2						△						
	ファッションビジネス基礎				2			△									
	ファッションと文化				2				△								
	秘書概論				2			△									
	自分探しの心理学				2	△							●				
	人との関わりを学ぶ心理学				2			△					●				
	アロマセラピーⅠ				2	△											
	アロマセラピーⅡ				2			△									
	情報処理演習A				1					△							★
	情報処理演習B				1					△							
	医療事務Ⅰ				2					△							
	医療事務Ⅱ				2					△							
	医療事務Ⅲ				2					△							
	生活概論				2		◎					●		●			
	生活衛生学				2						◎	●		●			
	養護演習ⅠA					1	△					●					野外学習
	養護演習ⅠB					1		△				●					野外学習
	養護演習ⅡA					1			△								★
	養護演習ⅡB					1					△						☆
	教職実践演習(養護教諭)					2					△						
	発達心理学					2			△			●	●	●	●		
	教育相談の理論と方法					2			△			●	●	●	●		
	教職論					2	△					●					
	教育原理・教育経営					2				△		●		●			
	教育課程・生徒指導論					2			△			●					
	道徳・総合的な学習、特別活動の理論と方法					2			△			●					
	教育の方法と技術					2				△		●					
	健康教育					2			△								★
	学校保健の活動					2	△					●					
	学校保健					2				△		●					
	養護概説					2	△					●					
	健康相談活動					2				△		●					
	解剖生理学					2	△					●					
	栄養生理学					2				△		●					
	免疫学					2			△			●					
	精神保健					2	△					●	●				
	看護学Ⅰ(看護学概論)					2	△					●		●			
	看護学Ⅱ(母子看護)					2				△		●					
	看護学Ⅲ(学校救急看護)					2			△			●		●			
	看護学Ⅳ(成人及び小児看護学)					2				△		●					
	看護学Ⅴ(臨床実習Ⅰ)					1	△					●					
	看護学Ⅵ(臨床実習Ⅱ)					1			△*			●					1週間実習
	ハートセイバーAED					2	△										★
	保育特講Ⅰ					2			△					●			
保育特講Ⅱ					2				△				●				
養護特講					2				△								
ボランティア活動Ⅰ					1	△	△					●					
ボランティア活動Ⅱ					1				△	△		●					
特別支援教育					2				△			●			●		
ネイルアートⅠ					2			△									
ネイルアートⅡ					2				△								
科教目職	養護実習指導		4		1			△			●						
	養護実習				3					△*	●					3週間実習	

<履修条件>

1. 「医療事務Ⅰ」(2年前期)と「医療事務Ⅱ」(2年前期)は、同時に履修してください。
2. 「医療事務Ⅲ」(2年後期)は、「医療事務Ⅰ」(2年前期)と「医療事務Ⅱ」(2年前期)を履修していなければ、履修することはできません。
3. 「教職実践演習(養護教諭)」(2年後期)の履修には、2年前期までの資格必修科目と★印の単位を修得していること。  
かつ、養護実習の単位を修得済みまたは履修中であること。
4. 「看護学Ⅵ(臨床実習Ⅱ)」(1年後期)の履修には「看護学Ⅴ(臨床実習Ⅰ)」(1年前期)の単位修得が必要となります。

<補定事項>

1. 下記の科目を履修する場合、( )内の科目も履修することが望まれます。  
①ユニバーサルカラー学(色彩検定) ②アロマセラピーⅡ(アロマセラピーⅠ)
2. 下記の科目は、履修希望者が多数の場合は、抽選になります。  
①ネイルアートⅠ(1年後期) ②ネイルアートⅡ(2年前期)
3. 教職履修者は、備考欄に☆が記載されている科目も履修してください。
4. ピアヘルパー認定試験受験希望者は、資格区分のピアヘルパー欄に●の表示がある7科目のうち、2科目かつ4単位以上の単位修得が必要となります。
5. 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある10科目のうち、3科目以上の単位修得が必要となります。  
ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。  
①「発達心理学」(1年後期)と「教育相談の理論と方法」(1年後期)  
②「看護学Ⅰ(看護学概論)」(1年前期)と「看護学Ⅲ(学校救急看護)」(1年後期)  
③「保育特講Ⅰ」(1年後期)と「保育特講Ⅱ」(2年前期)
6. 准学校心理士資格には、資格区分の准学校心理士欄に●の表示がある科目全ての単位修得かつ教員免許取得が必要となります。
7. JNAジェルネイル技能検定試験受験希望者は、「ネイルアートⅠ」(1年後期)「ネイルアートⅡ」(2年前期)両方を履修することが望まれます。
8. 食生活アドバイザー検定試験受験希望者は、「食生活論」(2年前期)「基礎栄養学」(2年前期)両方を履修することが望まれます。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

## 2 生活科学科 生活科学専攻 養護教諭コース (2025年度入学生用)

### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科生活科学専攻養護教諭コースの卒業に必要な単位(卒業要件単位数)を修得すること

### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 4単位 (選択) 8単位以上
専門教育科目	50単位以上	(必修) 4単位 (選択) 46単位以上
卒業要件単位数	62単位以上	

### <養護教諭二種免許取得に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の養護教諭欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	50単位	資格区分の養護教諭欄に●の表示がある全ての科目
教職科目	4単位	
資格取得要件単位数	66単位	

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得 要件単位数	単位数		年次・学期配当				資格区分				備考	
				必修	選択	1年次		2年次		養護 教諭	ピアハ ルパー	社会福 祉主事	進学校 心理士		
						前期	後期	前期	後期						
基礎 教育 科目	文章表現法	12	12		2	△									
	日本国憲法			2		△				●					
	コミュニケーション心理学			2		△									
	生活文化論			2		△									
	社会人入門セミナー			2			◎				●				
	情報基礎演習Ⅰ			1		◎					●				
	情報基礎演習Ⅱ			1			◎				●				
	英語コミュニケーションⅠ			1		△					●				
	英語コミュニケーションⅡ			1			△				●				
	実践英語			2						△*					イギリス短期研修
	体育理論			2					△		●				
体育実技	1		△					●							

### <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習、●…資格必修科目、★…「教職実践演習」必修科目
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」(2年前期または後期)は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

### <履修条件>

1. 「教職実践演習(養護教諭)」(2年後期)の履修には、2年前期までの資格必修科目と★印の単位を修得していること。  
かつ、養護実習の単位を修得済みまたは履修中であること。



### 3 生活科学科 食物栄養専攻 栄養士コース (2025年度入学生用)

#### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科食物栄養専攻の卒業に必要な単位(卒業要件単位数)を修得すること

#### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 6単位 (選択) 6単位以上
専門教育科目	52単位	(必修) 52単位
卒業要件単位数	64単位以上	

#### <栄養士免許取得に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の栄養士欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	54単位	資格区分の栄養士欄に●の表示がある全ての科目
資格取得要件単位数	66単位	

#### <栄養士免許・栄養教諭二種免許取得に必要な単位数>

栄養教諭二種免許取得には、栄養士免許の取得が必要となります。

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	13単位	資格区分の栄養教諭欄に●の表示がある全ての科目
専門教育科目	54単位	資格区分の栄養教諭欄に●の表示がある全ての科目
専門教育科目 <教職>	20単位	資格区分の栄養教諭欄に●の表示がある全ての科目
教職科目	2単位	資格区分の栄養教諭欄に●の表示がある全ての科目
資格取得要件単位数	89単位	

#### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得 要件単位数		単位数		年次・学期配当				資格区分				備考			
			栄養士	栄養教諭	必修	選択	1年次		2年次		栄養士	栄養教諭	フード スペシャ リスト	社会福 祉主事				
基礎 教育 科目	総合系	12	12	13		2	△											
						2	△											
					2	◎				●	●	●						
					2	△												
					2		◎			●	●	●						
	情報系				情報基礎演習Ⅰ	1		◎					●	●	●			
					情報基礎演習Ⅱ	1				◎			●	●	●			
	外国語系				英語コミュニケーションⅠ	1		△							●			
					英語コミュニケーションⅡ	1				△					●			
	体育系				実践英語	2								△*				イギリス短期研修
体育理論		2		△							●							
	体育実技	1		△							●							

#### <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習、●…資格必修科目
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」(2年前期または後期)は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

#### <履修条件>

1. 「体育実技」(1年前期)は、教職履修者のみ履修することができます。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得 要件単位数		単位数		年次・学期配当				資格区分				備考
			栄養士	栄養教諭	必修	選択	1年次		2年次		栄養士	栄養教諭	フード スペシャ リスト	社会福 祉主事	
							前期	後期	前期	後期					
専 門 教 育 科 目	と健康 社会 生活	社会福祉概論			2				◎		●	●	●	●	
		公衆衛生学			2					◎	●	●	●	●	
	人 体 の 構 造 と 機 能	解剖生理学			2		◎					●	●	●	
		解剖生理学実習			1			◎				●	●	●	
		栄養生理学			2				◎			●	●	●	
		生化学			2		◎					●	●	●	
		生化学実験			1			◎				●	●	●	
		病理学			2					◎		●	●	●	
	食 品 と 衛 生	食品学Ⅰ			2		◎					●	●	●	
		食品学Ⅱ			2			◎				●	●	●	
		食品学実験Ⅰ			1		◎					●	●	●	
		食品学実験Ⅱ				1					△				
		食品衛生学			2			◎				●	●	●	
		食品衛生学実験			1				◎			●	●	●	
		食品機能学				2					△				
		基礎栄養学			2		◎					●	●	●	●
	栄 養 と 健 康	応用栄養学			2						◎	●	●	●	
		栄養学実習			1						◎	●	●	●	
		臨床栄養学Ⅰ			2		◎					●	●	●	
		臨床栄養学Ⅱ			2				◎			●	●	●	
		臨床栄養学実習Ⅰ			1			◎				●	●	●	
		栄養教育論			2		◎					●	●	●	
	栄 養 の 指 導	栄養教育論実習	52	54	54	1					◎	●	●	●	
		栄養指導論			2				◎			●	●	●	
		栄養指導論実習			1					◎		●	●	●	
		公衆栄養学			2					◎		●	●	●	
		調理学			2		◎					●	●	●	
		調理学実習Ⅰ			1		◎					●	●	●	
		調理学実習Ⅱ			1					◎		●	●	●	
		調理学実習Ⅲ				1					△	●	●		
	給 食 の 運 営	調理学実験				1						△		●	
		給食計画実務論			2		◎					●	●	●	
		給食管理実習校内Ⅰ			1			◎				●	●	●	
		給食管理実習校内Ⅱ				1					△	●	●		
		給食管理実習校外Ⅰ			1					◎*		●	●	●	45時間以上
		給食管理実習校外Ⅱ				1					△*	●	●	●	45時間以上
		給食管理実務実習			1			◎				●	●	●	
		総合演習ⅠA			1		◎					●	●	●	
		総合演習ⅠB			1			◎				●	●	●	
		総合演習ⅡA			1				◎			●	●	●	
		フードスペシャリスト論				2					△			●	
		フードコーディネータ論				2						△		●	
官能評価				2						△		●			
生活経済学				2						△	△	●			
専 門 教 育 科 目 へ 教 職 へ	教職実践演習(栄養教諭)				2						△	●			
	発達心理学				2			△				●		●	
	教育相談の理論と方法				2			△				●		●	
	教職論				2	△						●			
	教育原理・教育経営				2				△			●		●	
	教育課程・生徒指導論				2				△			●			
	道徳、総合的な学習、特別活動の理論と方法				2			△				●			
	教育の方法と技術				2				△			●			
	特別支援教育				2				△			●			
	学校栄養指導論				2				△			●			
	栄養教育実習指導			2						△		●			
栄養教育実習			2						△*		●		1週間実習		

＜補足事項＞

- 下記の科目は、教職履修者も履修可能な場合があります。  
 ①食品学実験Ⅱ(2年後期) ②食品機能学(2年後期) ③フードスペシャリスト論(2年前期)  
 ④フードコーディネータ論(2年後期) ⑤官能評価(2年後期) ⑥生活経済学(2年後期)
- 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある6科目のうち、3科目以上の単位修得が必要となります。  
 ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。  
 ①「発達心理学」(1年後期)と「教育相談の理論と方法」(1年後期)

＜単位修得条件＞

- 「教職実践演習(栄養教諭)」(2年後期)の単位修得には、「栄養教育実習」(2年)の単位修得が必要となります。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

### 3 生活科学科 食物栄養専攻 栄養士コース (2023 ~ 2024年度入学生用)

#### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 生活科学科食物栄養専攻の卒業に必要な単位(卒業要件単位数)を修得すること

#### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 6単位 (選択) 6単位以上
専門教育科目	52単位	(必修) 52単位
卒業要件単位数	64単位以上	

#### <栄養士免許取得に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
卒業要件単位数	64単位以上	(基礎教育科目) 資格区分の栄養士欄に●の表示がある科目を含む12単位以上
専門教育科目	2単位	(専門教育科目) 資格区分の栄養士欄に●の表示がある科目54単位
資格取得要件単位数	66単位以上	

#### <栄養士免許・栄養教諭二種免許取得に必要な単位数>

栄養教諭二種免許取得には、栄養士免許の取得が必要となります。

区分	必要単位数	備考
卒業要件単位数	64単位以上	(基礎教育科目) 資格区分の栄養教諭欄に●の表示がある科目を含む13単位以上
基礎教育科目	1単位以上	(専門教育科目) 資格区分の栄養士欄に●の表示がある科目54単位
専門教育科目	2単位	
専門教育科目<教職>	24単位	
教職科目	2単位	
資格取得要件単位数	93単位以上	

#### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件単位数	資格取得要件単位数		単位数	年次・学期配当				資格区分				備考			
			栄養士	栄養教諭		1年次		2年次		栄養士	栄養教諭	フードスペシャリスト	社会福祉主事				
基礎教育科目	総合系	12	12	13													
					文章表現法		2	△									
					日本国憲法		2		△					●			
					生物学		2		◎				●	●	●		
					化学		2		△								
	社会人入門セミナー					2				◎			●	●	●		
	情報系				情報基礎演習Ⅰ		1		◎					●	●	●	
					情報基礎演習Ⅱ		1			◎				●	●	●	
	外国語系				英語Ⅰ		1		△								
					英語Ⅱ		1				△						
					英語コミュニケーションⅠ		1					△		●			
					英語コミュニケーションⅡ		1						△	●			
					実践英語		4						△*				イギリス短期研修
体育系	体育理論		2				△				●						
	体育実技		1		△					●							

#### <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習、●…資格必修科目
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」(2年前期または後期)は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

#### <履修条件>

1. 「体育実技」(1年前期)は、教職履修者のみ履修することができます。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得 要件単位数		単位数		年次・学期配当				資格区分				備考			
			栄養士	栄養教諭	必修	選択	1年次		2年次		栄養士	栄養教諭	フードスペシャリスト	社会福祉主事				
							前期	後期	前期	後期								
専門教育科目	社会福祉概論	52	54	54	2				○		●	●	●	●				
	公衆衛生学				2						○		●	●	●	●		
	解剖生理学				2			○					●	●	●			
	解剖生理学実習				1				○				●	●	●			
	栄養生理学				2					○			●	●	●			
	生化学				2			○					●	●	●			
	生化学実験				1				○				●	●	●			
	病理学				2							○		●	●	●		
	食品学Ⅰ				2			○					●	●	●			
	食品学Ⅱ				2				○				●	●	●			
	食品学実験Ⅰ				1			○					●	●	●			
	食品学実験Ⅱ					1										△		
	食品衛生学				2					○			●	●	●			
	食品衛生学実験				1						○		●	●	●			
	食品機能学					2											△	
	基礎栄養学				2			○					●	●	●	●		
	応用栄養学				2								○	●	●	●		
	栄養学実習				1								○	●	●	●		
	臨床栄養学Ⅰ				2			○					●	●	●			
	臨床栄養学Ⅱ				2					○			●	●	●			
	臨床栄養学実習Ⅰ				1				○				●	●	●			
	栄養教育論				2			○					●	●	●			
	栄養教育論実習				1									○	●	●		
	栄養指導論				2					○			●	●	●			
	栄養指導論実習				1							○	●	●	●			
	公衆栄養学				2					○			●	●	●			
	調理学				2			○					●	●	●			
	調理学実習Ⅰ				1			○					●	●	●			
	調理学実習Ⅱ				1						○		●	●	●			
	調理学実習Ⅲ					1										△		
	調理学実験					1										△		
	給食計画実務論				2			○					●	●	●			
	給食管理実習校内Ⅰ				1				○				●	●	●			
	給食管理実習校内Ⅱ					1						△	●	●	●			
	給食管理実習校外Ⅰ				1								○*	●	●	●	45時間以上	
	給食管理実習校外Ⅱ					1								△*			45時間以上	
	給食管理実務実習				1				○				●	●	●			
	総合演習ⅠA				1			○					●	●	●			
	総合演習ⅠB				1				○				●	●	●			
	総合演習ⅡA				1					○			●	●	●			
フードスペシャリスト論		2						△			●							
フードコーディネーター論		2								△		●						
官能評価		2									△	●						
生活経済学		2									△	●						
教職実践演習(栄養教諭)		2									△	●						
発達心理学		2					△				●		●					
教育相談の理論と方法		2					△				●		●					
教職論		2		△							●							
教育原理・教育経営		2						△			●		●					
教育課程論		2						△			●							
道徳教育の理論と方法		2					△				●							
特別活動及び総合的な学習		2					△				●							
教育の方法と技術		2					△				●							
生徒指導論		2					△				●							
特別支援教育		2						△			●							
学校栄養指導論		2					△				●							
栄養教育実習指導		2							△		●							
栄養教育実習		2									△*		1週間実習					

<補足事項>

- 下記の科目は、教職履修者も履修可能な場合があります。
  - ①食品学実験Ⅱ（2年後期） ②食品機能学（2年後期） ③フードスペシャリスト論（2年前期）
  - ④フードコーディネーター論（2年後期） ⑤官能評価（2年後期） ⑥生活経済学（2年後期）
- 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある6科目のうち、3科目以上の単位修得が必要となります。ただし、下記の科目については、2科目両方の単位修得で1科目分となります。
  - ①「発達心理学」（1年後期）と「教育相談の理論と方法」（1年後期）

<単位修得条件>

- 「教職実践演習(栄養教諭)」（2年後期）の単位修得には、「栄養教育実習」（2年）の単位修得が必要となります。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

## 4 こども教育学科 こども教育専攻 こども教育コース (2025年度以降入学生用)

### ＜卒業要件＞

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. こども教育学科こども教育専攻の卒業に必要な単位（卒業要件単位数）を修得すること

### ＜卒業に必要な単位数＞

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位以上	(必修) 6単位 (選択) 6単位以上
専門教育科目	50単位以上	(必修) 39単位 (選択) 11単位以上
卒業要件単位数	62単位以上	

### ＜幼稚園教諭二種免許取得に必要な単位数＞

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の幼稚園欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	50単位	資格区分の幼稚園欄に●の表示がある全ての科目を含む
教職科目	5単位	資格区分の幼稚園欄に●の表示がある全ての科目
資格取得要件単位数	67単位	

### ＜保育士資格取得に本科で必要な科目と単位数＞

保育士資格取得には、こども教育学科（本科）を卒業後、専攻科こども教育学専攻（専攻科）での単位修得が必要となります。

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の保育士欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	56単位	資格区分の保育士欄に●の表示がある全ての科目 資格区分の保育士欄に○の表示がある全ての科目
資格取得要件単位数	68単位	

### ＜幼稚園教諭二種免許・保育士資格取得に本科で必要な科目と単位数＞

保育士資格取得には、こども教育学科（本科）を卒業後、専攻科こども教育学専攻（専攻科）での単位修得が必要となります。

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	12単位	資格区分の幼稚園・保育士欄に●の表示がある全ての科目を含む
専門教育科目	60単位	資格区分の幼稚園・保育士欄に●の表示がある全ての科目 資格区分の保育士欄に○の表示がある「学校保健Ⅰ」または「音楽概論」の2単位
教職科目	5単位	資格区分の保育士欄に●の表示がある全ての科目
資格取得要件単位数	77単位	

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件単位数	資格取得要件単位数			単位数		年次・学期配当				資格区分					備考						
			幼稚園	保育士	幼稚園保育士	必修	選択	1年次		2年次		幼稚園	保育士	ヒアヘルパー	社会福祉士	准学校心理士							
								前期	後期	前期	後期												
基礎教育科目	文章表現法	12	12	12	12		2	△															
	生活文化論						2																
	日本国憲法						2								●								
	社会人入門セミナー						2								◎	●	●						
	情報基礎演習Ⅰ						1					◎			●	●							
	情報基礎演習Ⅱ						1						◎		●	●							
	英語コミュニケーションⅠ						1								△								
	英語コミュニケーションⅡ						1									△							
	実践英語						2									△*							イギリス短期研修
	体育理論						2								◎		●	●					
体育実技		1									△		●	●									

### ＜表記について＞

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習、●…資格必修科目、○…資格選択科目
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。
4. 「実践英語」（2年前期または後期）は、イギリス短期研修のことを示しています。研修年次は1年次、成績評価は2年次となります。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	資格取得要件単位数			単位数		年次・学期配当				資格区分					備考				
			幼稚園	保育士	幼稚園 保育士	必修	選択	1年次		2年次		幼稚園	保育士	ピアハ ルパー	社会福 祉主事	准学校 心理士					
								前期	後期	前期	後期										
専 門 教 育 科 目	保育原理	50	50	42	42	2		◎				●	●		●						
	教育原理					2			△				●	●		●					
	こども家庭福祉					2							◎	●	●		●				
	社会福祉						2						△			●		●			
	社会的養護 I						2							◎	●	●					
	保育者論						2							◎	●	●					
	保育の心理学						2						◎			●	●	●		●	
	こども家庭支援の心理学						2							◎		●	●			●	
	こどもの理解と援助						1							◎		●	●	●		●	
	こどもの保健						2							△			●				
	教育課程・保育の計画と評価						2							◎		●	●				
	保育内容総論						2								◎	●	●				
	保育内容指導法（健康・環境）						2								◎	●	●				
	保育内容指導法（人間関係・言葉）						2								◎	●	●				
	保育内容指導法（表現）						2								◎	●	●				
	こどもと健康						1								◎	●	●				
	こどもと人間関係						1							◎		●	●				
	こどもと環境						1								◎	●	●				
	こどもと言葉						1							◎		●	●				
	こどもと表現						2								◎	●	●				
	乳児保育 I						2								△		●				
	特別支援教育						2								◎	●	●			●	
	保育実習指導 I（保育所）						1									△	●				
	保育実習 I（保育所）						2									△*	●				90時間以上
	学校保健 I						2									△	○				
	幼児理解・教育相談						2								△		●	○	●	●	
	教職実践演習（幼稚園）						2									△	●				
	音楽概論						2							△			○				
	ハートセイバーAED						2							△							
	教育行政学						2									△	●				
	教育の方法と技術						2								△		●				
	こども演習						2							◎			●	●			
	専攻演習 I A						1							◎			●	●			
専攻演習 I B		1								◎		●	●								
専攻演習 II A		1								◎		●	●								
専攻演習 II B		1									◎	●	●								
ピアノ実技 I A		1							△												
ピアノ実技 I B		1								△											
ピアノ実技 II A		1									△										
ピアノ実技 II B		1										△									
児童文化論 I		1							◎			●	●								
児童文化論 II		1								◎		●	●								
実習事前・事後指導 I		1								△											
実習事前・事後指導 II		1									△										
教育実習指導		1							△			●				1日参加実習（幼稚園）					
教育実習 I		2									△*	●				2週間（実質10日間）					
教育実習 II		2										△*	●			2週間（実質10日間）					
科 目 職		5																			

＜単位修得条件＞

- 各学外実習と実習指導の単位修得は、連動して判定されます。一方の科目が不可の場合は、両科目とも不可となります。
  - 「教育実習 I」（1年後期）と「実習事前・事後指導 I」（1年後期）
  - 「教育実習 II」（2年前期）と「実習事前・事後指導 II」（2年前期）
  - 「保育実習 I（保育所）」（2年後期）と「保育実習指導 I（保育所）」（2年後期）
- 「教職実践演習（幼稚園）」（2年後期）の単位修得には、「教育実習 II」（2年前期）の単位修得が必要となります。

＜補足事項＞

- 「音楽概論」（1年前期）及び「ハートセイバーAED」（1年前期）は、全員履修してください。
- ピアヘルパー認定試験受験希望者は、資格区分のピアヘルパー欄に●の表示がある3科目のうち、2科目かつ4単位以上の単位修得が必要となります。
- 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある4科目のうち、3科目以上の単位修得が必要となります。
- 准学校心理士資格には、資格区分の准学校心理士欄に●の表示がある科目全ての単位修得かつ教員免許状取得が必要となります。

I  
学校案内

II  
学生生活

III  
履修

IV  
学科目単位配当表

V  
資格

VI  
校舎配置図

## 5 ライフケア学科 臨床検査専攻 臨床検査コース (2022年度以降入学生用)

### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 3年以上在学すること
2. ライフケア学科臨床検査専攻臨床検査コースの卒業に必要な単位（卒業要件単位数）を修得すること

### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	14単位	(必修) 14単位
専門教育科目	91単位	(必修) 91単位
卒業要件単位数	105単位	

### <臨床検査技師国家試験受験資格>

ライフケア学科臨床検査専攻臨床検査コースに在学し、所定の課程を修了した者は「臨床検査技師国家試験受験資格」を得ることができます。

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当						備考			
					1年次		2年次		3年次					
					必修	選択	前期	後期	前期	後期		前期	後期	
基礎 教育 科目	総合系	14	1		◎									
			1		◎									
			1		◎									
			1		◎									
			1							◎				
			2		◎									
			2		◎									
			1		◎									
			1		◎									
			2		◎									
1		◎												
外語系	医用英語		2		◎									
体育系	保健体育		1		◎									

### <表記について>

1. 記号：◎…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当						備考		
			必修	選択	1年次		2年次		3年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門 教育 科目	医用工学概論Ⅰ	91	1		○								
	医用工学概論Ⅱ		1			○							
	情報科学Ⅰ		1			○							
	情報科学Ⅱ		1				○						
	医用工学概論実習		1				○						
	ボランティア概論			1	△								
	チーム医療論		1						○				
	公衆衛生学Ⅰ（医学概論含む）		2			○							
	公衆衛生学Ⅱ（関係法規含む）		1				○						
	薬理学		1							○			
	解剖学		2				○						
	解剖学実習		1				○						
	生理学		2			○							
	呼吸器・感覚機能検査学		1						○				
	循環機能検査学		1				○						
	神経・筋機能検査学		1						○				
	画像検査学		2							○			
	生理機能検査学Ⅰ実習		1						○				
	生理機能検査学Ⅱ実習		1							○			
	生理機能検査学Ⅲ実習		1							○			
	生化学		1					○					
	臨床検査基礎実習		1			○							
	微生物学		1			○							
	臨床微生物学Ⅰ		2				○						
	臨床微生物学Ⅱ		1							○			
	微生物学実習		1						○				
	臨床微生物学実習		1							○			
	組織学		1				○						
	病理学		2						○				
	臨床栄養学（栄養学含む）		1				○						
	病理組織細胞学		2						○				
	病理組織細胞学Ⅰ実習		1						○				
	病理組織細胞学Ⅱ実習		1							○			
	検査安全管理学総論		2							○			
	医療情報学概論		1								○		
	医療統計学		2			○							
	看護学概論		1				○						
	救急処置		1				○						
	病態学Ⅰ		1						○				
	病態学Ⅱ		2							○			
	医療安全管理学		1				○						
	医療安全管理学実習		1						○				
	一般検査学		1				○						
	一般検査学Ⅰ実習		1				○						
	一般検査学Ⅱ実習		1							○			
	臨床化学Ⅰ		1						○				
	臨床化学Ⅱ（RI含む）		1							○			
	臨床化学実習		1						○				
	臨床血液学Ⅰ		1						○				
	臨床血液学Ⅱ		1							○			
臨床血液学Ⅰ実習	1						○						
臨床血液学Ⅱ実習	1							○					
寄生虫検査学	1				○								
遺伝子染色体検査学	1							○					
遺伝子染色体検査学実習	1							○					
免疫学	1				○								
免疫学実習	1						○						
臨床免疫学	1						○						
輸血・移植検査学	2							○					
輸血・移植検査学実習	1							○					
臨床検査学特論Ⅰ	4									○			
臨床検査学特論Ⅱ	4									○			
課題研究	1									○			
技能修得到達度評価	1								○				
臨地実習	11								○*				

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位数配当表

V 資格

VI 校舎配置図

## 6 ライフケア学科 柔道整復専攻 柔道整復コース (昼間部) (2018年度以降入学生用)

### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 3年以上在学すること
2. ライフケア学科柔道整復専攻柔道整復コース (昼間部) の卒業に必要な単位 (卒業要件単位数) を修得すること

### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	14単位	(必修) 14単位
専門教育科目	86単位	(必修) 86単位
卒業要件単位数	100単位	

### <柔道整復師国家試験受験資格>

ライフケア学科柔道整復専攻柔道整復コース (昼間部) に在学し、所定の課程を修了した者は「柔道整復師国家試験受験資格」を得ることができます。

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当						資格区分 社会福祉 主事	備考		
			必修	選択	1年次		2年次		3年次					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎 教育 科目	総合系	14	生命倫理学	2					○					
			臨床心理学A	2		○								
			臨床心理学B	2			○							
			臨床栄養学	2					○					
			パーソナルコミュニケーション	2			○							
	情報系		コンピュータ演習Ⅰ	1			○							
			コンピュータ演習Ⅱ	1				○						
	外国語系		医用英語	2			○							

### <表記について>

1. 記号：○…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当				資格 区分 社会福 祉主事	備考		
			必修	選択	1年次		2年次				3年次	
					前期	後期	前期	後期			前期	後期
専 門 教 育 科 目	人間の疾病の歴史	86	1			◎						
	衛生学		1				◎					
	公衆衛生学		1						◎		●	
	保健衛生と関係法規		2			◎						
	職業倫理		1		◎							
	柔道Ⅰ		1		◎							
	柔道Ⅱ		1			◎						
	解剖学ⅠA		1		◎							
	解剖学ⅠB		1			◎						
	解剖学ⅡA		1				◎					
	解剖学ⅡB		1					◎				
	解剖学ⅢA		1						◎			
	解剖学ⅢB		1							◎		
	生理学ⅠA		1		◎							
	生理学ⅠB		1			◎						
	生理学ⅡA		1				◎					
	生理学ⅡB		1					◎				
	生理学Ⅲ		1							◎		
	リハビリテーション医学		1						◎		●	
	生活行動運動学		1						◎			
	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化		2							◎		
	病理学概論A		2						◎			
	病理学概論B		2							◎		
	整形外科Ⅰ		1					◎				
	整形外科Ⅱ		1						◎			
	外科学概論Ⅰ		1					◎				
	外科学概論Ⅱ		1						◎			
	臨床医学Ⅰ		2					◎				
	臨床医学Ⅱ		2						◎			
	健康行動整復学Ⅰ		2		◎							
	健康行動整復学ⅡA		1		◎							
	健康行動整復学ⅡB		1			◎						
	健康行動整復学Ⅲ		2		◎							
	健康行動整復学ⅣA		2		◎							
	健康行動整復学ⅣB		2			◎						
	健康行動臨床整復学Ⅰ		1				◎					
	健康行動臨床整復学Ⅱ		1				◎					
	健康行動臨床整復学Ⅲ		1					◎				
	健康行動臨床整復学ⅣA		1				◎					
	健康行動臨床整復学ⅣB		1					◎				
	健康行動臨床整復学Ⅴ		1				◎					
	健康行動臨床整復学Ⅵ		1				◎					
	健康行動臨床整復学Ⅶ		1				◎					
	健康行動臨床整復学Ⅷ		1							◎		
	健康行動臨床整復学Ⅸ		1							◎		
	健康行動臨床整復学Ⅹ		1							◎		
	健康行動臨床整復学Ⅺ		1							◎		
	柔道整復術適心の臨床的判定		1					◎				
	健康行動整復技術Ⅰ		1		◎							
	健康行動整復技術Ⅱ		2			◎						
健康行動整復技術Ⅲ	1			◎								
健康行動整復技術ⅣA	1				◎							
健康行動整復技術ⅣB	1					◎						
健康行動整復技術ⅤA	1				◎							
健康行動整復技術ⅤB	1					◎						
健康行動整復技術Ⅵ	1						◎					
健康行動整復技術Ⅶ	1						◎					
健康行動臨床実技Ⅰ	1					◎			臨床実習前施術試験含む			
健康行動臨床実技Ⅱ	1						◎					
健康行動臨床実技Ⅲ	1						◎					
健康行動臨床実技Ⅳ	1						◎					
健康行動臨床実技Ⅴ	1						◎					
健康行動臨床実技Ⅵ	1						◎					
高齢者及び競技者の外傷予防技術	1							◎				
柔道整復術の適心	2							◎				
社会保障制度	1							◎	●			
健康行動整復技術研究	1				◎							
総合演習Ⅰ	1						◎	◎				
総合演習Ⅱ	1							◎				
特別総合演習	1							◎				
臨床実習Ⅰ	1			◎*								
臨床実習Ⅱ	1				◎*							
臨床実習Ⅲ	1					◎*						
臨床実習Ⅳ	1						◎*					
スポーツテーピングセラピー			1		△							

<補足事項>

1. 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある3科目のうち、3科目全ての単位修得が必要となります。

I  
学校案内

II  
学生生活

III  
履  
修

IV  
学科目単位配当表

V  
資  
格

VI  
校舎配置図

## 7 ライフケア学科 柔道整復専攻（二部）柔道整復コース（夜間部）（2018年度以降入学生用）

### <卒業要件>

卒業するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 3年以上在学すること
2. ライフケア学科柔道整復専攻（二部）柔道整復コース（夜間部）の卒業に必要な単位（卒業要件単位数）を修得すること

### <卒業に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
基礎教育科目	14単位	(必修) 14単位
専門教育科目	86単位	(必修) 86単位
卒業要件単位数	100単位	

### <柔道整復師国家試験受験資格>

ライフケア学科柔道整復専攻（二部）柔道整復コース（夜間部）に在学し、所定の課程を修了した者は「柔道整復師国家試験受験資格」を得ることができます。

### 基礎教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当						資格区分 社会福祉 主事	備考
			必修	選択	1年次		2年次		3年次			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎 教育 科目	生命倫理学	14	2					○				
	臨床心理学A		2		○							
	臨床心理学B		2			○						
	臨床栄養学		2					○				
	パーソナルコミュニケーション		2			○						
	コンピュータ演習Ⅰ		1			○						
	コンピュータ演習Ⅱ		1				○					
外語系 医用英語	2			○								

### <表記について>

1. 記号：○…卒業必修科目、△…選択科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

専門教育科目

区分	授業科目	卒業要件 単位数	単位数		年次・学期配当						資格 区分 社会福 祉主事	備考	
			必修	選択	1年次		2年次		3年次				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門 教育 科目	人間の疾病の歴史	86	1			○							
	衛生学		1				○						
	公衆衛生学		1							○		●	
	保健衛生と関係法規		2				○						
	職業倫理		1			○							
	柔道Ⅰ		1			○							
	柔道Ⅱ		1				○						
	解剖学ⅠA		1			○							
	解剖学ⅠB		1				○						
	解剖学ⅡA		1					○					
	解剖学ⅡB		1						○				
	解剖学ⅢA		1							○			
	解剖学ⅢB		1								○		
	生理学ⅠA		1			○							
	生理学ⅠB		1				○						
	生理学ⅡA		1					○					
	生理学ⅡB		1						○				
	生理学Ⅲ		1								○		
	リハビリテーション医学		1							○		●	
	生活行動運動学		1							○			
	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化		2								○		
	病理学概論A		2							○			
	病理学概論B		2								○		
	整形外科学Ⅰ		1						○				
	整形外科学Ⅱ		1							○			
	外科学概論Ⅰ		1						○				
	外科学概論Ⅱ		1							○			
	臨床医学Ⅰ		2						○				
	臨床医学Ⅱ		2							○			
	健康行動整復学Ⅰ		2			○							
	健康行動整復学ⅡA		1			○							
	健康行動整復学ⅡB		1				○						
	健康行動整復学Ⅲ		2			○							
	健康行動整復学ⅣA		2			○							
	健康行動整復学ⅣB		2				○						
	健康行動臨床整復学Ⅰ		1					○					
	健康行動臨床整復学Ⅱ		1					○					
	健康行動臨床整復学Ⅲ		1						○				
	健康行動臨床整復学ⅣA		1					○					
	健康行動臨床整復学ⅣB		1						○				
	健康行動臨床整復学Ⅴ		1					○					
	健康行動臨床整復学Ⅵ		1					○					
	健康行動臨床整復学Ⅶ		1					○					
	健康行動臨床整復学Ⅷ		1								○		
	健康行動臨床整復学Ⅸ		1								○		
	健康行動臨床整復学Ⅹ		1								○		
	健康行動臨床整復学Ⅺ		1								○		
	柔道整復術適応の臨床的判定		1						○				
	健康行動整復技術Ⅰ		1			○							
	健康行動整復技術Ⅱ		2				○						
健康行動整復技術Ⅲ	1				○								
健康行動整復技術ⅣA	1					○							
健康行動整復技術ⅣB	1						○						
健康行動整復技術ⅤA	1					○							
健康行動整復技術ⅤB	1						○						
健康行動整復技術Ⅵ	1							○					
健康行動整復技術Ⅶ	1							○					
健康行動臨床実技Ⅰ	1						○				臨床実習前施術試験含む		
健康行動臨床実技Ⅱ	1							○					
健康行動臨床実技Ⅲ	1							○					
健康行動臨床実技Ⅳ	1							○					
健康行動臨床実技Ⅴ	1							○					
健康行動臨床実技Ⅵ	1							○					
高齢者及び競技者の外傷予防技術	1								○				
柔道整復術の適応	2								○				
社会保障制度	1								○	●			
健康行動整復技術研究	1					○							
総合演習Ⅰ	1							○	○				
総合演習Ⅱ	1								○				
特別総合演習	1								○				
臨床実習Ⅰ	1				○*								
臨床実習Ⅱ	1						○*						
臨床実習Ⅲ	1							○*					
臨床実習Ⅳ	1							○*					
スポーツテーピングセラピー			1		△								

<補足事項>

1. 社会福祉主事任用資格には、資格区分の社会福祉主事欄に●の表示がある3科目のうち、3科目全ての単位修得が必要となります。

I 学校案内

II 学生生活

III 履修

IV 学科目単位配当表

V 資格

VI 校舎配置図

## 8 専攻科 こども教育学専攻 (2025 年度以降入学生用 (2023 年度本科入学生))

### <修了要件>

修了するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 1年以上在学すること
2. 専攻科こども教育学専攻の修了に必要な単位 (修了要件単位数) を修得すること

### <修了に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
専門教育科目	23単位	(必修) 21単位 (選択必修) 2単位
修了要件単位数	23単位	

### <保育士資格取得に必要な要件>

こども教育学科 (本科) および専攻科こども教育学専攻 (専攻科) において保育士資格取得に必要な単位を修得のうえ、専攻科の課程を修了した者に、「保育士証」が交付されます。

### 専門教育科目

区分	授業科目	修了要件 単位数	単位数		学期配当		備考	
			必修	選択	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	こども家庭支援論	23	2			◎		
	こどもの食と栄養		2		◎			
	乳児保育Ⅱ		1		◎			
	こどもの健康と安全		1			◎		
	社会的養護Ⅱ		1		◎			
	子育て支援		2			◎		
	保育実習Ⅰ (施設)		2		◎*		90時間以上	
	保育実習指導Ⅰ (施設)		1		◎			
	保育実践演習		2		◎	◎		
	障害児保育		2		◎			
	保育実習Ⅱ (保育所)			2	2		▲*	Ⅱ・Ⅲのいずれかを選択 90時間以上
	保育実習Ⅲ (施設)			2				
	保育実習指導Ⅱ・Ⅲ		1				◎	
	専攻演習ⅢA		1			◎		
	専攻演習ⅢB		1				◎	
	ピアノ実技ⅢA		1			◎		
ピアノ実技ⅢB	1				◎			

### <表記について>

1. 記号：◎…修了必修科目、△…選択科目、▲…選択必修科目、\*…学外実習
2. 学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

### <履修条件>

1. 「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」 (専攻科後期) は、「保育実習Ⅰ (保育所)」 (本科2年後期) を修得していなければ、履修することはできません。

### <単位修得条件>

1. 各学外実習と実習指導の単位修得は、連動して判定されます。一方の科目が不可の場合は、両科目とも不可となります。
  - ①「保育実習Ⅰ (施設)」 (専攻科前期) と「保育実習指導Ⅰ (施設)」 (専攻科前期)
  - ②「保育実習Ⅱ (保育所)」 (専攻科後期) または「保育実習Ⅲ (施設)」 (専攻科後期) と「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」 (専攻科後期)

## 9 専攻科 臨床工学専攻（2025年度以降入学生用）

### <修了要件>

修了するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 1年以上在学すること
2. 専攻科臨床工学専攻の修了に必要な単位（修了要件単位数）を修得すること

### <修了に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
専門教育科目	88単位	(必修) 88単位
修了要件単位数	88単位	

### <臨床工学技士国家試験受験資格>

専攻科臨床工学専攻に在学し、所定の課程を修了した者は「臨床工学技士国家試験受験資格」を得ることができます。

### 専門教育科目

区分	授業科目	修了要件 単位数	単位数		学期配当		備考	
			必修	選択	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	基 解剖生理学Ⅰ	88	2		◎			
	基 解剖生理学Ⅱ		2			◎		
	基 生化学Ⅰ		2		◎			
	基 生化学Ⅱ		1		◎			
	基 薬理学		1				◎	
	基 免疫学		2				◎	
	基 病理学		1				◎	
	基 公衆衛生学		1			◎		
	基 医学概論		1				◎	
	基 チーム医療論		1				◎	
	基 応用数学		2			◎		
	基 電気工学Ⅰ		2			◎		
	基 電気工学Ⅱ		1				◎	
	基 電子工学Ⅰ		2				◎	
	基 電子工学Ⅱ		1				◎	
	専 生物物性工学		2			◎		
	専 生体材料工学		2				◎	
	基 機械工学		2				◎	
	基 計測工学		2			◎		
	基 電気電子工学実習		3			◎		
	基 電気電子工学総合演習		1				◎	
	専 医用工学Ⅰ		2			◎		
	基 医用工学Ⅱ		2			◎		
	基 医用工学Ⅲ		2				◎	
	基 医用工学実習Ⅰ		3				◎	
	専 医用工学実習Ⅱ		1				◎	
	専 生体計測装置学Ⅰ		2			◎		
	専 生体計測装置学Ⅱ		2				◎	
	専 医用機器学概論		2				◎	
	専 医用機器学総合演習		1				◎	
	専 医用治療機器学Ⅰ		2				◎	
	専 医用治療機器学Ⅱ		1				◎	
	専 医用治療機器学実習		1			◎		
	専 生体機能代行技術学Ⅰ		2			◎		
	専 生体機能代行技術学Ⅱ		4			◎		
	専 生体機能代行技術学Ⅲ		4			◎	◎	
	専 生体機能代行技術学実習		2			◎	◎	
	専 医療安全管理学		2			◎		
	専 臨床支援技術学		2			◎		
	専 臨床支援技術学実習		1			◎		
基 関係法規Ⅰ	1				◎			
専 関係法規Ⅱ	1				◎			
専 臨床医学総論Ⅰ	2			◎				
専 臨床医学総論Ⅱ	2			◎				
専 臨床医学総論Ⅲ	2				◎			
専 臨床医学総論Ⅳ	1				◎			
専 臨床実習事前演習	1			◎				
専 臨床実習事後演習	1				◎			
専 臨床実習	5			◎*	◎*			

### <表記について>

1. 記号：◎…修了必修科目、\*…学外実習
2. 学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

### <単位修得条件>

1. 「電気電子工学総合演習」（後期）及び「医用機器学総合演習」（後期）の単位修得には、当該科目以外に配当されている全ての単位修得が必要となります。

# 10 専攻科 養護教諭専攻（2020年度以降入学生用）

## <修了要件>

修了するには、次の要件を満たさなければなりません。

1. 2年以上在学すること
2. 専攻科養護教諭専攻の修了に必要な単位（修了要件単位数）を修得すること

## <修了に必要な単位数>

区分	必要単位数	備考
専門教育科目	68単位	(必修) 68単位
修了要件単位数	68単位	

## <養護教諭一種免許取得に必要な要件>

専攻科養護教諭専攻の課程を修了し、学士の学位取得後、「養護教諭一種免許状」を得ることができます。

## 専門教育科目

区分	授業科目	修了要件 単位数	単位数		年次・学期配当				備考		
			必修	選択	1年次		2年次				
					前期	後期	前期	後期			
専門 教育 科目	学校保健研究Ⅰ	68	2		○						
	学校保健研究Ⅱ		2				○				
	養護教諭の職務研究Ⅰ		2			○					
	養護教諭の職務研究Ⅱ		2						○		
	衛生学研究		2						○		
	保健統計演習		2			○					
	ヘルスカウンセリング研究		2							○	
	健康教育の研究		2						○		
	養護診断特論		2					○			
	人体の構造と機能		2			○					
	病態生理学		2					○			
	薬理学特論		2						○		
	栄養学特論		2						○		
	小児看護特論		2						○		
	成人看護特論		2						○		
	精神保健特論		2						○		
	学校救急看護の研究		2				○				
	特別臨床実習指導		1				○				
	特別臨床実習		1						○*		1週間実習
	修了研究Ⅰ		2				○				
	修了研究Ⅱ		2						○		
	修了研究Ⅲ		2							○	
	修了研究Ⅳ		2								○
	野外活動の研究		2						○		
	教師論		2						○		
	特別支援教育特論		2				○				
	教育制度特論		2				○				
	教育課程特論		2							○	
	教育方法特論		2				○				
	生徒指導・教育相談特論		2						○		
	道徳教育の理論と方法特論		2						○		
	特別活動・総合的な学習特論		2				○				
教職特別実践演習	2								○		
養護特別実習指導	1						○				
養護特別実習	3							○*	3週間実習		

## <表記について>

1. 記号：○…修了必修科目、\*…学外実習
2. 年次・学期配当欄に記号のある学期に、授業は行われます。  
ただし、配当年次・学期は、変更となる場合もありますので、時間割表で必ず確認をしてください。
3. 2期に渡り記号がある科目は、通年開講科目、前期・後期の中央に記号がある科目は、どちらかの期で開講予定です。

## <単位修得条件>

1. 「教職特別実践演習」（2年後期）の単位修得には、「養護特別実習」（2年前期）の単位修得が必要となります。